

グループ紹介

チャーシューまい



お茶を楽しむ会



中国の代表的な楽器である二胡は、4・5年前から日本でブームになり、私たちもその魅力に惹かれて、個人で先生について習っていました。しかし、やはり一人で練習するという形だけでは喜びも目的も少ないと感じるようになり、声を掛け合ってグループをつくりました。二胡の3人にキーボードとフルートを加え、総勢5人でバンドを結成しました。月に1回、メンバーの家で練習をしています。主な活動場所は老人福祉センターです。

二胡は、独特の素朴な郷愁を誘う音色を持っています。弦はたった2本で音域が狭く、また、音の高さは自分で聞きながら調整するので、音程をとるのが非常に難しいのです。そういう訳で、演奏する曲も限られていますが、中国だけでなく、日本の曲も演奏しています。

二胡の演奏用の楽譜は少ないので、ほとんど自分たちで悪戦苦闘して作った楽譜を使用しています。やっと演奏したい曲の楽譜を見つけてもメロディだけなので、それを苦労して合奏用にアレンジします。だから、完成したときの喜びはとても大きいのです。

私たちは、演奏だけでなく楽しいトークをしたり、観客の方たちといっしょに歌ったりして、全員が一体となった温かい時間を共有することを大切にしています。

市内のいろいろな所に顔を出しますので、機会があればぜひお聴きいただき、アドバイスをよろしくお願ひします。

連絡先 大橋 直子 627-0086
(茨木市社会福祉協議会 ボランティアセンター内)

お茶を楽しむ会は、生涯学習センターきらめきの茶道講座を受講して、これからも続けていきたいというメンバーで結成されました。

毎月、第1・3金曜日に10人前後のメンバーが集まっておけいこをしています。メンバーのほとんどが主婦や小さい子どもを持つママさんです。忙しい毎日の家事や子育ての中で、おけいこの間はゆったりとした別世界の空間を楽しめます。

メンバーは初心者も経験者もいますが、どちらも同じペースで同じおけいこをしています。時には、講座で指導していただいた先生にも来ていただきます。初心者は、先生や経験者のお点前を拝見できるのでとても参考になります。経験者は、忘れていた手順を思い出すなど、もう一度基本をしっかりと学ぶことができます。

おけいこは、ただお茶を点てるだけではありません。お点前をする前に、その日の掛け軸の作者や季節の茶花の名前を聞いたり、千利休の話や歴史の話などもします。何気なくしている立ち方や座り方、歩き方、ふすまの開け閉めなどもおけいこをすることで、日頃の立ち居振る舞いを自然に美しく見せることができます。また、茶碗などのお道具の名前や由来なども準備をしながら覚えられます。いつか、お茶会に参加して、学んだことを生かしたいと思ひます。

皆さんも私たちといっしょにお茶のおけいこをしてみませんか。連絡をお待ちしています。

連絡先 熊井 優子 621-6037

市民インタビュー

この人に会いたくて



第31回

茨木市民の中からいきいき生活の達人を探し出し、紹介するコーナーです。話から見てくるその豊かな人生に、あなたもきっと勇気づけられることでしょう。

自宅に天文台を設置している

しみず きよし
清水 清さん

定年後、趣味として自宅に天文台を設置し、地域の小・中学生、高校生にも開放して天体観測の楽しさを教えている。また、大学へ通い、そこで学んだ地球環境の大切さを伝えるため、環境教育のボランティアや地域の学校のクラブなどでもボランティア活動を行っている。

天体に関心を持たれたきっかけと自宅に天文台を作られた経緯を教えてください。

大学では理科系の教員を目指し勉強していました。趣味ではカメラが好きで、特にレンズの仕組みがおもしろく、それが天体望遠鏡へとつながっていったのだと思います。自宅に天文台を作った経緯は、当時、勤務していた小学校に天文台があり、その天体望遠鏡でハレー彗星などを子どもたちと見て楽しんでいるうちに、自宅にもこんなものがあつたらいいと思うようになったからです。これは、定年後の生活を豊かにしてくれました。と同時に、地域の子どもたちが天体や地球環境などに関心を持つことに役立っているのを思うと、作ってよかったと満足しています。

地球環境に関する研究をされるきっかけは何でしょう。

環境問題は教員在職中から子どもや保護者への話として取り上げていました。宇宙的規模で地球を見たとき、銀河系宇宙の2,000億ともいわれる星の中で、地球のように高度な生物をもつ星が存在する可能性は極めて少なく、地球が奇跡に近い星であることがわかります。それを考えると、私たちはもっと地球を大切にしなければならないということに気付きました。そこで、もう少し理論的に勉強しようと大学や大学院で宇宙や地球環境の研究することになったのです。

地球の歴史において人類の出現はごく最近のことですが、今、その人間が地球の環境を脅かしています。地球を取り巻く環境は危機的な状態です。地球の大気層はとと薄くラップを巻いたようなものなのです。それを人間が二酸化炭素を大量に排出して壊しているのです。人間はほかの動物から突出した存在だけにヒト社会の発展は地球環境にとってはマイナス・インパクトです。人間はあまりにも快適さばかりを追求し、こうした猛スピードの発展が、エネルギーや水、資源、食糧などを次世代、未来世代から前借りしているような状態にしているのです。

私たちにできることは何でしょう。

個人の欲求を競い合うことはやめて、ゆっくりとした生活を営むライフスタイルへの変換が必要ではないでし

ょうか。地球の資源が限られていることを認識して、お互いのできるだけ物を共有する心掛けが大切だと思います。いずれにしても今のうちに、これからの子どもたちのために行動を起こさなければなりません。

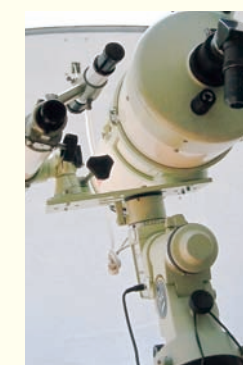
スポーツにも興味をお持ちだと聞いていますが。

バレーボールは、小・中学校、高校、大学を通してやってきました。実は、選手時代には苦痛に感じたことの方が多く、楽しいと思ったのは、社会人になってママさんバレーや3点バレーなどの指導をしてからです。水泳も、教員にとっては必須科目のようなものだったので練習し、退職後も続けていました。大会に出場してメダルも取りましたが、今は腰を痛めているので、特別なスポーツはしていません。

これからの目標などはありますか。

私は、60歳の定年を迎えるに当たって、自分がやりたいと思っていることを5年刻みにしてプランをたてました。定年後、大学や大学院へ通ったのもその一つです。今は、ボランティアをする第3期です。環境に関するボランティアをはじめ、保護司もしています。こうした自分の積み重ねてきたものを周りの人々に受け取ってもらい、また、自分も人から受け取ることができればとても楽しいことです。人に自分の知識を受け取ってもらうためには、自らが学ぶ姿勢を示さなければなりません。

「人生、熱くなければ価値がない」と常々感じています。そして、「生きる意味」をいつも考えて行動したいと思っています。



天文台の天体望遠鏡



自宅の天文台